

「高齢者を交通事故から守るための安全・安心協力式」を実施**～ 静岡県警察本部などと合同で交通安全啓発活動を実施 ～**

日本損害保険協会中部支部静岡損保会（会長：東 秀明・東京海上日動火災保険株式会社 理事静岡支店長）では、3月18日（火）に静岡県警交通部長室で「高齢者を交通事故から守るための安全・安心協力式」を実施しました。

協力式では、静岡県警との高齢ドライバーサポート協定にもとづき、交通事故防止に資するチラシを2種類、合計9万部を寄贈し、東損保会長より「高齢者の皆様が、このチラシを目にして交通安全への意識を高め、安全な日常生活を送っていただくことを心から願っている。」との挨拶がありました。

引続き静岡県警加藤交通部長から、「交通事故防止で一番力を入れたいヘルメット着用と反射材のチラシを作成いただき感謝する。頂いたチラシを十分に活用させていただき、事故の無い静岡県をつくっていきたい。」との挨拶がありました。

協力式終了後は、JR静岡駅北口地下広場「しずちカイベントスペース」へ場所を移し、静岡県警察本部などと合同でチラシを使用して、高齢者に対して自転車ヘルメットの着用及び夕暮れ時・夜間の反射材着用等と呼び掛ける交通安全啓発活動を実施しました。

当支部では、今後も、静岡県警ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



チラシを寄贈する東損保会長(右)



加藤交通部長(左)と東損保会長(右)



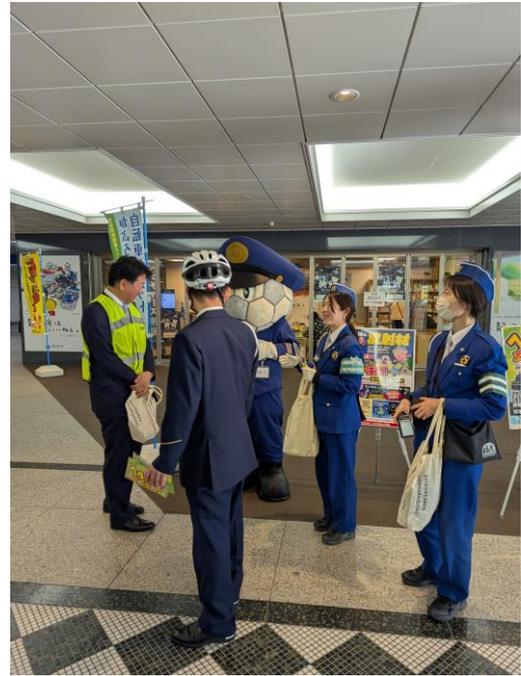
安全・安心協力式の様子



報道機関の取材を受ける東損保会長



チラシを手渡す東損保会長



しずちカイベントスペースでの啓発活動の様子



チラシ①表面



チラシ①裏面



チラシ②表面



チラシ②裏面